

TAMASHIN REPORT

2013

たましん
レポート

[平成24年4月1日～平成25年3月31日]



「お客さまの声」を
地域の未来に…



「金庫力」を向上しくふるさと多摩〉の実現



会長 佐藤浩二 理事長 八木敏郎

いつも〈たましん〉をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

このたび理事長に就任しました八木敏郎やぎ としろうです。会長に就任致しました佐藤前理事長と共に、お客さまの課題解決を実現し、より一層地域への貢献度を高めてまいります。よろしくお祈りします。

今年も平成24年度の活動をご報告する「たましんレポート2013」を作成しました。昨年度のたましんの活動をご覧いただき、皆さまからの率直な声をこれからの活動に活かしてまいります。

平成24年度を振り返りますと、年度当初は不透明な経済環境が続き、国内経済においても閉塞感が漂うムードが流れていましたが、年度後半には景気回復への期待が高まり、将来への希望が見出せる経済環境へと大きく変化した1年であったと思います。

多摩地域の企業におきましては、一部では回復の兆しが見えてきたお客さまもいらっしゃいますが、全体としてはまだまだ厳しい状況が続いています。そのような環境下で日々努力を続ける事業所の皆さまの抱える課題を解決し、また個人のお客さまへ暮らしの安心をお届けするとともに、地域活性化に向けて取り組んでいくことが私たちの使命と考え、活動してまいりました。

地域のお客さまにご支持いただき、おかげさまで預金残高は平成23年度に引き続き増加することができました。

一方で貸出金残高については減少しており、お客さまの抱える課題への取り組みがまだまだ不足していると改めて感じております。

平成25年度はお客さまの課題へより多く、より迅速に対応し、質の高い活動を実践していきたいと考えております。

を目指します。

地域の課題解決インフラとして

日々変わり続ける環境下においてお客さまのご要望にしっかりとお応えし、また万一の災害に備えお客さまによりご安心いただけるサービスをご提供するため、平成25年1月に、いままでの自営システムから全国の約9割の信用金庫が加盟する「しんきん共同センター」のシステムへと移行致しました。

また、依然として厳しい経営環境が続く中、事業者の皆さまへより専門性の高い支援をおこなうため、平成24年11月に財務省関東財務局と経済産業省関東経済産業局から「経営革新等支援機関」の認定を受けました。

個人のお客さまへの取り組みとしましては暮らしやお金のことなどをじっくり相談できるコンサルティングスペース「すまいるカウンター」を3店舗に新設するなど、地域の課題解決インフラとしての役割を果たすべく、サポート体制の充実を図ってまいりました。

今後も地域とお客さまに信頼され、安心してお取引いただける体制を整えてまいります。

〈ふるさと多摩〉の実現に向けて

たましんは平成24年度より新たに3ヵ年中期経営計画を策定し活動しております。

経営計画の2年目となる平成25年度は昨年度の取り組みをさらに充実させ、活動の成果を「実現」させていく年度とするため、「金庫力」の向上を持って質の高い課題解決を実現することを目指しています。

事業所の皆さまへ事業・財務支援や経営革新支援、創業支援やNPO、スモールビジネスの支援などによる地域の活性化、個人のお客さまへ相続や遺言など高齢社会に対応した取り組みや、資産形成・資産運用および保険に関する取り組みなど、将来の不安解消のお手伝いをおこなうことで〈ふるさと多摩〉の実現に向けて取り組んでまいります。

今年度、金庫は創立80周年を迎えます。これもひとえに皆さまのご支援、ご指導の賜物であり、謹んで感謝申し上げます。

これからも地域とともに歩み、課題解決インフラとしての役割を果たしてまいります。今後も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

たましんプロフィール

平成25年3月末現在

創 立	昭和8年12月26日 有限責任立川信用組合として設立 平成18年1月10日 合併により多摩信用金庫	店 舗 数	本支店……76／出張所……4 店外キャッシュサービスコーナー……62
純 資 産	1,024億円	役職員数	2,232名(パート含む)
出 資 金	235億円	職 員 数	1,964名(男性1,186名、女性778名)
本 店	東京都立川市曙町2丁目8番28号		

・本誌では、原則として単位未満(構成比等の比率については表示した数値未満)を切り捨てのうえ表示しています。従って項目ごとを合計した場合、合計を表示している欄等との数値が一致しない場合があります。
・3月末時点の計数については「〇年3月末」、期間中の計数については「〇年度」として項目表示しています。また、財務諸表においては、決算期数にて表示し、時点・期間を併記しています。

【目次】

● 理事長からのごあいさつ	1	● 業績トピックス	21
● 地域とたましん	3	● 金庫運営の体制	29
● たましんの取り組み		● お客さまの声	37
・企業への支援	5	● たましんのネットワーク	39
・個人の皆さまへのお手伝い	11		
・地域社会への取り組み	17		

経営理念

たましんは、お客さまの幸せを創造する企業
たましんの仕事は、お客さまの幸せづくり

基本方針

わが信用金庫は社会的公器として協同組織による地域金融機関たる精神に徹し、

1. 役職員一致の体制を整え
2. 信義誠実、明朗堅実にして信頼に富む職場を築き
3. 業容の増大、質の向上を図って金融の疎通につとめ

以て地元の繁栄とわが国経済の振興に寄与することを念願する。

多摩信用金庫企業倫理

1. 社会的公器の自覚と信頼の確立

たましんの基本方針にのっとり、その公共的役割を自覚し、経営の自己責任に基づく健全経営に徹することにより、会員、お客さま、地域社会の信頼を確立していきます。

2. お客さま第一主義の実践と地域社会への貢献

たましんの経営理念を追求し、あらゆる業務を通じて、お客さまへ質の高い最良のサービスを提供することを常に目指すとともに、地域社会の発展に貢献していきます。

3. 法令やルールへの厳格な遵守

たましんは、法令やルールおよびその精神を遵守し、社会的規範に背くことのないよう、常に誠実かつ公正な企業運営を行ってまいります。

4. 反社会的勢力の排除

たましんは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力を、断固たる姿勢で排除してまいります。

5. 経営情報の公開と地域社会との調和

たましんは、経営情報の積極的かつ公正な開示をはじめとして、広く地域社会とのコミュニケーションを深め、調和を図ってまいります。

中期経営計画2012基本方針

たましんは平成24年度より、新たな3ヵ年計画である「中期経営計画2012」をスタートさせました。たましんが永続的に地域の課題解決インフラとなり、企業並びに個人のお客さまや地域全般にわたる課題を解決していくことで、持続可能な明るい地域社会「ふるさと多摩」の創造に貢献することをメインテーマとしています。

「中期経営計画2012」では以下の3つの基本方針を掲げています。

1. 「地域の課題解決インフラ」としての役割を確立する
2. 金庫のビジネスモデルを持続的に実践できる「経営基盤」を構築する
3. 役職員が自信と誇りを持ち、安心して働ける「職場環境」を醸成する

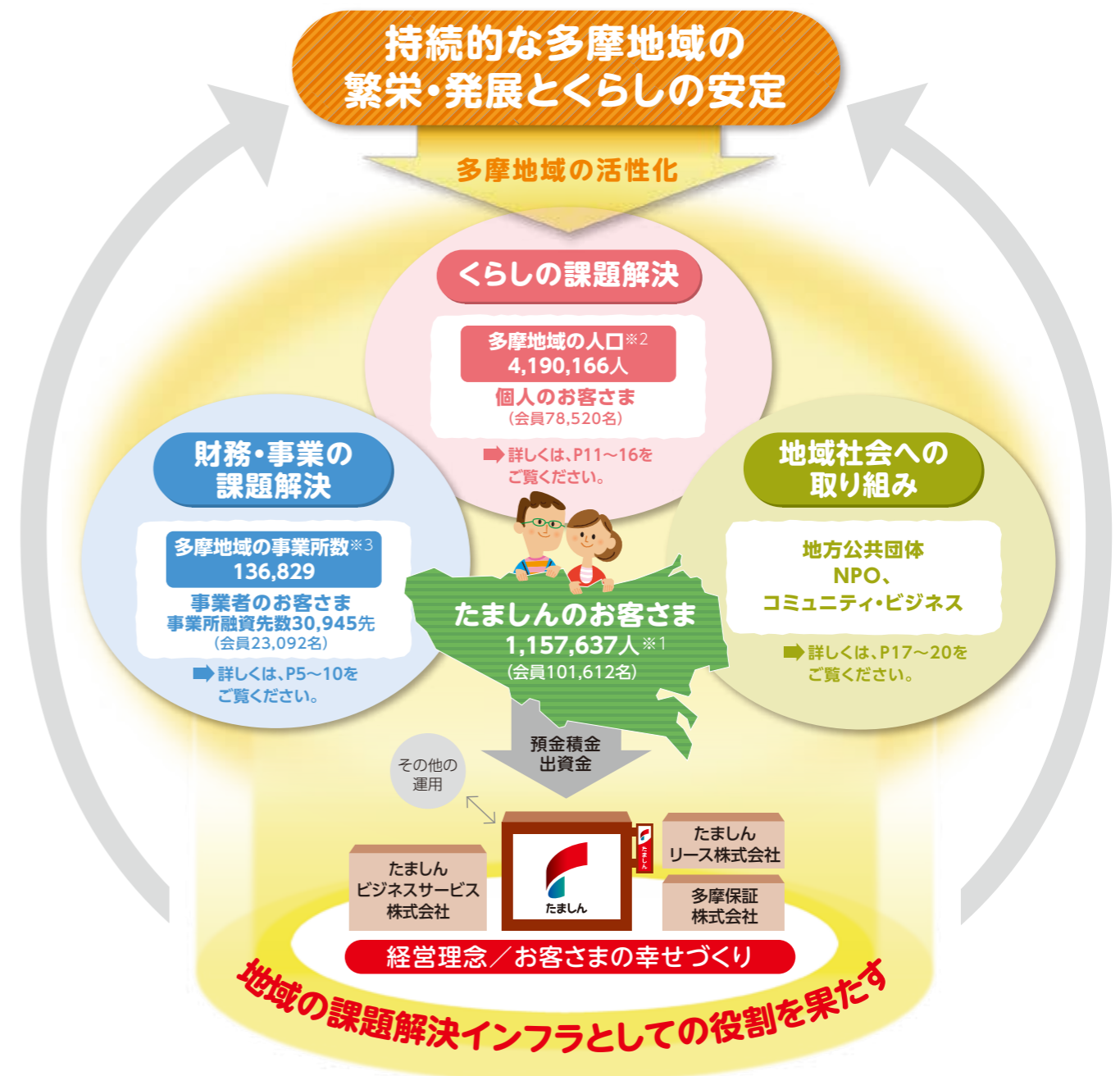
以上の基本方針を基に多摩地域の発展に貢献していくことこそ、地域に根ざす企業である「多摩信用金庫」の役割と考えています。

多摩地域の活性化

たましんはお客さまと、
〈ふるさと多摩〉の未来を創っていきます。

多摩地域で生まれた金融機関だからこそ、できることがあります

地域の皆さまとともに私たちのふるさと多摩を未来にわたって成長・繁栄させていくために、金融サービスはもちろん経済・文化・生活等あらゆる角度から、多摩で活動される企業、多摩で生活し働く個人の皆さま、多摩の地域社会を、総合的・積極的にサポートしています。



※1 たましん各店の預金をお持ちのお客さまの合計(平成25年3月末現在)。
 ※2 東京都総務局「東京都の人口(推計)」(平成25年4月1日現在)。
 ※3 総務省統計局「平成24年経済センサス活動調査(速報)」(平成24年2月1日現在)。
 注. 会員数・事業所融資先数は平成25年3月末現在。

企業・事業所の成長と繁栄のために

お客さまと、共に経営課題の解決に力強く取り組んでいます。

創業支援の強化

創業支援

●インキュベーション施設

京王八王子支店の7階で、創業間もない方々を対象に、金融支援にとどまらず総合的な支援を行う、創業支援施設「ブルームセンター」を運営しています。また、地方公共団体、大学等と連携して創業支援に取り組んでおり、多摩地域で創業そのものを増やす取り組みを行っています。



●ブルーム交流カフェ

創業を目指す方のためのセミナーと、交流の場を提供する創業支援セミナーを開催しています。



次世代への伝承・承継

後継者育成

●TAMA NEXTリーダープログラム

たましんと明星大学が連携して行う後継者塾。一流の講師陣が次世代経営者をバックアップしています。



多摩地域の企業・革新の

事業所の皆さまへ課題解決



ネットワークを

活かした支援

国の認定

●認定経営革新等支援機関

「中小企業経営力強化支援法」に基づき、「認定経営革新等支援機関」として第1号認定を受けました。お客さまとともに経営課題の解決に取り組むパートナーとして、融資制度のご利用後も継続的に支援してまいります。(財務省 関東財務局、経済産業省 関東経済産業局)

専門家派遣

●課題解決プラットフォームTAMA

専門家派遣・セミナーの開催により、地域の中小企業等の課題解決を支援するたましん独自の仕組みです。また、国の専門家派遣制度も活用しています。

- 中小企業支援ネットワーク強化事業(平成24年度)(経済産業省 関東経済産業局)※平成25年度より新制度となっています。
- 建設企業のための経営戦略アドバイザー事業(国土交通省 土地・建設産業局)

産学連携

●中小企業の技術課題解決に向けた産学連携事業

産学のネットワークを活用し、お客さまの課題解決をお手伝いします。
●東京高専・明星大学・電気通信大学・首都大学東京 等

事業支援施設

●たましん事業支援センター・プラザ (Winセンター・Winプラザ)

「新しいひらめき」、「新しい出会い」、「新しいビジネス」を創り出すことがコンセプトの事業支援施設です。ラウンジや会議室を地域の中小企業や支援機関に開放し、セミナーやビジネスマッチングを行っています。



事業者対象会員組織

●たましん法人総合サービスBOB

多摩地域で事業を営む方を対象とした会員組織です。ビジネスマッチング、ビジネス書式ダウンロード、事業者向けイベントなど、様々なサービスをご用意しています。



販路拡大などの支援

海外展開支援

●貿易・海外投資相談

お客さまの海外展開に向けて、様々な情報提供や専門的なアドバイスを行うセミナー、個別相談会を開催しています。また、海外の工業団地の視察やビジネスマッチングをねらいとした海外ミッションも実施しています。

商談会

●多摩の物産&輸入品商談会

多摩地域の様々な物産や輸入品の販路拡大をお手伝いする商談会です。

●たま工業交流展

多摩地域の中小企業の技術、製品が集まる展示会です。商談も活発に行われています。



中小企業の活性化支援

顕彰制度

●多摩ブルー・グリーン賞

多摩地域の中小企業の活性化と地域経済の振興に寄与することを目的に、事業者の優れた「技術・製品」「ビジネスモデル」を通じての「地域経済の貢献」を表彰しています。



◆主なサービス

事業の中で便利にご利用いただけるきめ細やかなサービスを取り揃えています。

- 振込
- 代金取立
- 給与振込
- 配当金自動受取
- コンビニ収納サービス
- 等

◆情報サービス

多様化する企業ニーズにお応えするため、事業者の方々に総合的にバックアップいたします。

- 不動産有効活用支援
- M&A相談
- 私募債受託業務
- 株式公開支援
- 事業収支計算
- 株価算定
- 等

◆融資商品

前向きに、意欲的に事業に取り組まれている事業者の方々に、各種融資で応援しています。また、新規事業に対しても積極的に対応いたします。

- たましん事業者応援ローン[Winパートナー]
- たましん事業再生支援融資[Winバリューアップ]
- たましん事業成長支援融資[Winグローアップ]
- たましん創業支援特別融資「ブルーム」
- たましんNPO事業支援ローン
- 等

◆貿易金融サービス

金融の国際化を背景とした各種ニーズにお応えし、お客さまの海外ビジネスをサポートいたします。

- 輸出取引
- 輸入取引
- 先物予約
- インパクトローン
- 外為インターネットサービス
- FAX海外送金サービス
- 等

◆相談サービス

無料でご利用いただける各種相談サービスを実施しています。

- 創業・CB(コミュニティビジネス)相談
- 貿易・投資相談
- 事業承継相談
- 法律・税務相談
- 等

◆ダイレクトバンキングサービス

お客さまの事務の合理化や資金管理の効率化に役立つ、各種サービスを取り揃えています。

- インターネットバンキングサービス
- テレホンバンキングサービス
- EBサービス(アンサーサービス、HBサービス、データ伝送(FB)サービス)
- 等

力強いパートナーとして企業・事業所の成長と繁栄をお手伝いします。



創業支援の強化

【創業を増やす取り組み】

創業したいと考えている方を対象に、創業者の体験談から学ぶ「ブルーム交流カフェ」、「ミニブルーム交流カフェ」を開催し、計401名のお客さまにご参加いただきました。また、地方公共団体と連携した創業支援にも取り組んでおり、「ビジネススクエア多摩」、「調布市産業振興センター」、「起業家応援プロジェクト八王子」「まちづくり三鷹」などへ、創業支援を専門に行う職員をインキュベーションマネージャーとして派遣し、相談件数は計376件となりました。引き続きたましんインキュベーション施設「ブルームセンター」の運営も行っていきます。



ブルーム交流カフェ 開催の様子

次世代への伝承・承継

【事業承継への支援】

多摩地域において経営者の高齢化が進む中、事業承継は重要な経営課題となっています。事業承継に関する専門家派遣、セミナー、個別相談会を通じて、事業承継を円滑に進めるための支援を行いました。また、明星大学と連携し、若手後継者塾「TAMA NEXT リーダープログラム4期生・5期生」を開講。必要な経営知識を深めながら、受講生同士が経営課題に関する問題を共有するなど、次世代リーダーのネットワークが広がっています。



事業承継セミナー 開催の様子

販路拡大などの支援

【海外展開セミナー】

中小企業の重要な経営戦略のひとつである海外展開への支援として、外部講師による海外展開セミナーを開催しました。これまで経済産業省や日本貿易振興機構[JETRO]、中小企業基盤整備機構など海外展開支援機関の方に講演いただき、計214名のお客さまにご参加いただきました。



ネットワークを活かした支援

【課題解決プラットフォームTAMA】

中小企業の経営課題に対する金庫独自の支援事業「課題解決プラットフォームTAMA」では、1,526件のご相談をいただき、その経営課題を解決するための専門家派遣を720回行いました。実施結果についての満足度アンケートにおいて、「満足」「やや満足」とご回答されたお客さまは前回より4.5%増加し、84.3%となりました。



中小企業の活性化支援

【多摩ブルー・グリーン賞】

多摩地域で活躍する事業者の優れた技術・製品や、新しいビジネスモデルを表彰する制度「多摩ブルー・グリーン賞」は、第10回を迎えました。これまでの応募総数は1,419件、うち、受賞企業は120社となりました。受賞企業を中心とした組織「多摩ブルー・グリーン倶楽部」で情報交換を行うなど、多摩地域への貢献活動に向けた連携を深めています。

【電子記録債権サービス／コンビニ収納サービス】

手形や売掛債権にかわる新たな決済手段として「電子記録債権サービス」の運用を開始し、印紙税の節約や確実な資金回収ができるようになりました。また、全国のコンビニなどでいつでも簡単に支払うことができる「コンビニ収納サービス」の取扱いを開始し、新たな決済インフラの充実を図っています。

【事業性融資商品「Winパートナー」】

事業所のお客さまが抱える資金調達や資金繰りの悩みを解決するため、平成24年4月より事業者応援ローン「Winパートナー」の取扱いを開始し、ご利用件数は3,737件となりました。安定した資金をスピーディかつ継続的にご提供することで、事業者の皆さまを応援しています。



事業者応援ローン「Winパートナー」

課題解決による事業再生

経営改善・事業再生に向け努力されている地域事業者の方とともに課題解決に取り組んでいます。融資管理部に経営革新支援担当を配置し、営業店とともに積極的に活動しています。

経営革新支援担当の取り組み

たましんは、「課題解決のインフラとしての役割を果たすことが存在意義である」との考えに基づき、経営改善、事業再生支援を本業と位置づけてきました。

さらに、金融支援にとどまらず事業そのものの再生に向けた取り組みの充実を図るため、平成23年度より経営革新支援担当に事業面の課題解決を行う担当者を増員し、お客さまの支援を強化しました。これにより、お客さまの経営課題に対して事業・財務両面からの支援が相乗効果を発揮することとなり、新たに改善の方向性を見出したケースや売上高の増加につながった等の成功事例が出ています。

経営改善支援等の取り組み実績(平成24年度)

お客さまが抱える事業課題解決に取り組み、平成24年度は42先のお客さまの経営内容が改善されました。

区分	期初債務者数 A	うち経営改善支援 取り組み先数 α	(単位:先数)			経営改善 支援取り組み 率α/A	ランク アップ率 β/α	再生計画 策定率 σ/α	
			αのうち期末に 債務者区分が ランクアップ した先数 β	αのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先数 γ	αのうち 再生計画を 策定した 先数 σ				
正常先 ①	20,845	8		6	1	0.0		12.5	
要注意先	うちその他 要注意先 ②	4,942	302	25	250	128	6.1	8.3	42.4
	うち要管理先 ③	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
破綻懸念先 ④	1,521	129	17	98	58	8.5	13.2	45.0	
実質破綻先 ⑤	566	1	0	1	0	0.2	0.0	0.0	
破綻先 ⑥	148	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
合計	小計(②~⑥の計)	7,177	432	42	349	186	6.0	9.7	43.1
		28,022	440	42	355	187	1.6	9.5	42.5

注・期初債務者数及び債務者区分は平成24年4月初時点まで整理しています。
 ・債務者数、経営改善支援取り組み先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンなどの先を含んでいません。
 ・βには、当期末の債務者区分が期初より上昇した先数を記載しています。
 なお、経営改善支援取り組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めていません。
 ・期初に債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」に上昇した場合はβに含めています。
 ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取り組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
 ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。
 ・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
 ・再生計画を策定した先数は、中小企業再生支援協議会等の再生計画策定先、金庫独自の再生計画策定先の先数を記載しています。



再生事例

たましん + 税理士法人 + 弁護士との連携

不動産賃貸業(多角経営から不動産賃貸業への特化)

経営課題

- 不動産賃貸、小売・サービス業等の多角化経営を行っていたが、小売・サービス部門の低迷により収益が悪化。
- 不動産賃貸部門においても多額の投資により不採算物件が発生。
- 不採算事業は、事業の撤退、不動産の売却により、有利子負債の圧縮をしたが、約定返済の履行が困難になり返済元金の据置依頼。
- メイン銀行よりサービス(債権回収代行会社)へ債権譲渡が行われた。
- サービス(債権回収代行会社)より、保有資産の売却による債権の返済依頼を受け、事業継続が極めて不安定。

主な取り組み

- 税理士法人による所有資産価値、収益物件の収支状況の調査。
- 事業収支計算による今後の収益確保の可能性の確認。
- 弁護士によるサービス(債権回収代行会社)との買戻価格と債権債務保証履行等の調整。
- サービス(債権回収代行会社)の債務免除による課税の発生検討。
- 税理士法人の再生スキーム、第二会社方式の立案。

支援の結果

- 20パターン以上にわたる収支計算のシミュレーションにより返済財源の確保・見直しを確認。
- 税理士法人による再生スキームの構築(第二会社方式)。
- 第二会社方式により債務免除益の回避。
- サービス(債権回収代行会社)より債権の買取資金として融資金対応を実行、事業は安定した。

たましん + 中小企業支援ネットワーク強化支援事業(専門家派遣)との連携

生鮮食料品卸小売業

経営課題

- 本業以外の子会社3社を設立し、経営の多角化を図ったが、不採算事業となり、投資回収が困難な状態。
- 関連事業での借入負担が大きく財務体質の悪化により金融機関からの資金調達ができず、資金繰りが悪化。
- 社内管理体制が整備されておらず、経営管理システムが構築されていない。

主な取り組み

- 中小企業支援ネットワーク強化事業の外部専門家を派遣し、窮境原因を把握。
- 不採算子会社3社を分離し本業に特化。
- 外部専門家を交え経営改善計画書を策定し、他行との金融調整を行い、元金の据置依頼。
- 次期代表者育成のために、当金庫主催のTAMA NEXTリーダープログラム(後継者育成支援)に後継予定の親族が参加。

支援の結果

- 不採算子会社への資金の流出を回避し、本業にて収益確保に至る。
- 経営改善計画書遂行により利益の確保。
- 資金繰りが安定し、他行との金融調整が図られ、元金返済の再開となる。

個人の皆さまの豊かな生活のために

お客さまの毎日を応援する<たましん>は、いつでも身近なパートナー。いつでも気軽に様々なサービスをご用意しています。にご相談ください。

くらしの充実のために

豊かなセカンドライフの応援

●シニア・スクエア

たましんでは、年金手続等に関するご相談をはじめ、ライフプラン全般に対する様々なご相談を承っています。また、たましんに公的年金をお振込いただいている方、および年金受給をご予約の方に、様々な商品とサービスをご用意しています。



旅行企画協力

●たましんトラベルサークル

春・秋と時期を分けて、国内旅行、日帰り旅行を実施しています。

コミュニティの形成

●多摩カップ

多摩地域のアマチュアゴルファーが一堂に集う「多摩コミュニティカップアマチュアゴルフトーナメント(愛称:多摩カップ)」を企画しています。

未来を担う世代への支援

子育て支援

- 夏休み親子自然体験'12ひのほら
- 明星大学 夏休み科学体験教室2012
- 2012青少年のための科学の祭典 東京大会in小金井



多摩地域の安心の

個人の皆さまへ課題解決



じっくり相談・安心サポート

多摩地域に8店舗展開

●すまいるセンター・すまいるプラザ

これからのマネープランや保険、相続や住まいに関する様々なご相談ができるコンサルティングスペースです。毎月「資産運用」「セカンドライフ」「保険」などのセミナーや相談会を開催しています。



多摩地域に21ヵ所展開

●すまいるカウンター

店舗内コンサルティングスペースとして、くらしやお金にまつわる様々な不安や疑問に専門スタッフが丁寧にお応えします。

相談会等

●相続手続きサポートサービス

戸籍謄本取得や、預貯金の相続手続き、不動産の相続登記などお客さまのご希望により各種相続手続きをサポートします。



●「保険なっ得フェア」「保険なっ得デー」の開催

保険の見直しおよび加入に関する情報や相談会を行う「保険なっ得フェア」と「保険なっ得デー」を開催しています。



●「通販型自動車保険体感フェア」の開催

通販型自動車保険のお見積りや保障性保険等のご相談ができるイベントを、「すまいるプラザ」にて実施しています。

◆外国為替サービス

世界主要都市の金融機関とコレス(為替契約)業務を展開し、海外との資金決済をご提供しています。また、お客さまのご要望にお応えできるよう豊富な外国通貨を取り揃えています。

- 海外送金 ○外貨両替(現金・旅行小切手) 等

◆相談サービス

無料でご利用いただける各種相談サービスを実施しています。

- 年金相談 ○住宅に関する相談 ○保険に関する相談
- 資産運用相談 ○相続・遺言相談 ○法律・税務相談 等

万が一の時に備えるために

保険のトータルコーディネーター

●たましん保険なっ得館

お客さまに合わせた保障をご案内する保険のトータルコーディネータースペースとして、土日営業しています。



多彩な商品を提供

●保険商品ラインアップの充実

お客さまの様々なリスクに備えるために、各種保険の取扱いをしています。「医療保険」や「がん保険」、「自動車保険」はもちろんのこと、「ペット保険」など多彩な商品をご用意しています。

情報誌の発行

●「保険なっ得Style」の発行

「子どもの教育資金」や「住宅購入」、「老後の生活」などに役立つ情報を掲載したフリーペーパーとして発行しています。



◆主なサービス

くらしの中で便利にご利用いただけるきめ細やかなサービスを取り揃えています。

- 公共料金等自動支払 ○年金自動受取
- 貸金庫・セーフティケース ○クレジット一体型キャッシュカード
- ポイントサービス ○デビットカードサービス
- メールオーダーサービス ○インターネットバンキングサービス
- テレホンバンキングサービス 等

◆公共債・投資信託

公共債や、投資信託をお取扱いしています。運用対象や収益性により各種商品をお選びいただけます。

- 個人向け国債 ○投資信託 ○中・長期利付国債 等

◆融資商品

お客さまのライフステージの変化に応じて生じる、様々な資金ニーズに合った商品を取り揃えています。

- 住宅ローン ○リフォームローン ○教育ローン
- マイカーローン ○フリーローン ○カードローン 等

◆預金商品

お客さまの資金ニーズにあった預金商品を取り揃えています。

- 当座預金 ○普通預金 ○貯蓄預金 ○通知預金
- 定期預金 ○定期積金 ○納税準備預金 ○外貨預金 等

◆各種保険・確定拠出年金

各種保険等の窓口販売により、お客さまの幅広いニーズにお応えしています。

- 個人年金保険 ○がん保険 ○医療保険 ○介護保険
- 終身保険 ○定期保険 ○学資保険
- 海外旅行傷害保険 ○傷害保険 ○住宅ローン関連保険
- ペット保険 ○自動車保険 ○確定拠出年金 等

◆ATMサービス

ATM機能の充実と利便性の高い場所への設置を展開しています。

身近なサポーターとして個人の皆さまの豊かな生活を支えます。



じっくり相談・安心サポート

【すまいるプラザでのご相談】

資産運用や相続、年金、保険などのコンサルティング業務を展開するすまいるプラザでは、前年より1,311件増の5,630件のご相談をいただきました。また、資産運用やセカンドライフ、くらしや住まい、保険、ライフプランなど、幅広いテーマで毎月開催している「すまいるセミナー」には、年間2,343名のお客さまにご参加いただきました。



くらし・住まい・お金のことなど、じっくりとご相談いただけます

未来を担う世代への支援

【子育て支援プログラム】

大学との連携による子育て支援の一環として、「夏休み親子自然体験'12ひのはら」を実施したほか、科学の楽しさを発見し、子どもたちの科学離れを防ぐ「夏休み科学体験教室2012」、「2012青少年のための科学の祭典 東京大会in小金井」などの協働事業を行いました。

くらしの充実のために

【税金の「ダイレクト納付」】

国税電子申告・納税システム「イータックス」を利用し、インターネットで便利に納税ができる「ダイレクト納付」がご利用いただけるようになりました。



税金のダイレクト納付でより便利に

【多摩カップ】

「多摩コミュニティカップアマチュアゴルフトーナメント」(愛称:多摩カップ)には、多摩地域のアマチュアゴルファー2,127名のお客さまにご参加いただき、熱戦を繰り広げました。



決勝大会開催の様子

【取扱保険商品のラインアップの充実】

公的介護保険を補うための「介護保険」の取扱いを開始したほか、ゆとりある将来のための資金を計画的に準備する「個人年金保険」を追加しました。また、これまですまいるプラザのみ取扱いを行っていた「自動車保険」の全店舗での取扱いを開始しました。取扱保険商品の追加、また取扱窓口の拡充により、お客さまの幅広いニーズにお応えしていきます。

【たましんアプリの配信】

スマートフォンなどで手軽に資産運用に対する投資傾向がわかり、その結果をもって「すまいるプラザ」でご相談いただける「資産運用診断アプリ」の配信を開始しました。また、インターネットバンキングへのリンクやATM手数料検索、各種お知らせなど、便利な「たましんアプリ」も配信しました。



資産運用診断アプリ

【「たま彩々」リニューアル】

たましんで年金をお受け取り・ご指定いただいている約20万7,000名のお客さまへ毎年お届けしているたましんダイアリー「たま彩々」。お客さまのアンケートをもとに、もしものための「覚え書きノート」や、毎月のコラム「暮らしに、知ってお得なお話」を新設し、デザイン・サイズについてもリニューアルを図りました。



たましんダイアリー「たま彩々2013」

【たましんトラベルサークル】

「たましんトラベルサークル」では、「さいはての浮島 利尻・礼文～最北端の自然が育む『花』と『海の幸』を満喫する旅～」、「カナダ横断8日間」などを実施し、計6,090名のお客さまにご参加いただきました。



たましんトラベルサークル2012



個人の課題解決に向けた取り組み

多摩地域でくらすお客さまの豊かな生活をサポートするため、お客さまの様々な悩みや課題の解決に積極的に取り組んでいます。

お客さまの課題解決に向けて

平成24年度においても引き続き、コンサルティング拠点「すまいるプラザ」「すまいるカウンター」の充実を図るとともに、お客さまのライフステージにおける様々な悩みや課題を共有し、解決してまいりました。

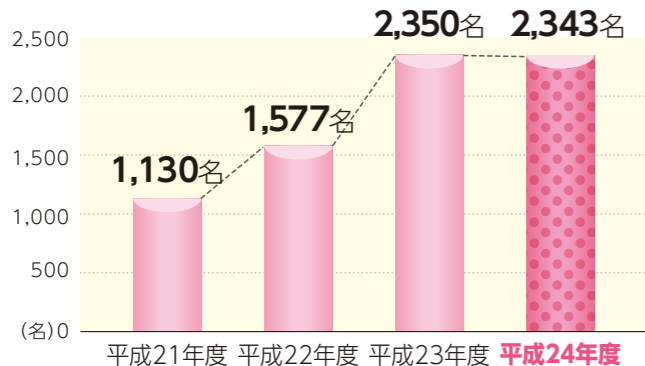
また資産運用はもちろんのこと、相続に関する悩みや保険によるリスクへの備えなど、専門家によるセミナーや相談会を数多く行い、多くのお客さまにご参加いただき、不安の解消へとつながりました。

今後も、気軽にご相談いただける身近な存在を目指して活動してまいります。

すまいるセミナーの実施状況

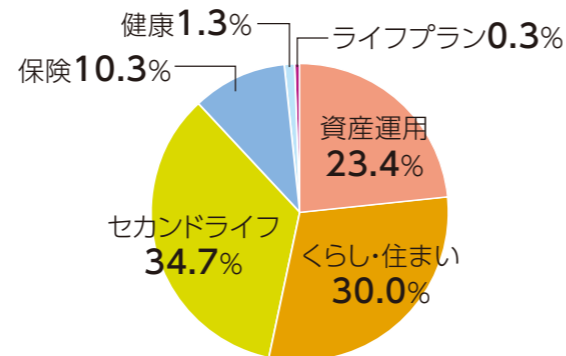
すまいるプラザでは、毎月資産運用、相続、年金、保険などをテーマとした「すまいるセミナー」や「すまいる相談会」を開催しています。平成24年度は、合計304回のセミナーを開催しました。特に、セカンドライフをテーマとしたセミナーへの参加者が一番多く、年金や相続に対するお客さまの関心が高まっています。

■平成21年度から平成24年度までのセミナー参加人数の推移



※平成23年度より、「多摩らいふ倶楽部健康セミナー」は含まれません。

■平成24年度すまいるセミナーのテーマ別参加人数割合



相続・遺言に対するサポート

お客さまの相続・遺言に関する不安を取り除くため、手続き時に必要な書類や手続きの流れについて事前にご確認いただける「たましんの遺産相続あんしんサポート」リーフレットをご用意しました。また、相続への備えや遺言作成に関するサポートなど弁護士や税理士、司法書士等の専門家との連携を活用した支援体制を整えました。



じっくりとご相談いただけるくらしのコンサルティングスペース ～すまいるプラザの取り組み～

[個人の課題解決の実践]

平成24年度は、多摩地域でくらすお客さまの豊かな生活をサポートするため、多岐にわたる悩みや課題の解決に積極的に取り組みました。今後も個人のお客さまに対しいつでも気軽にご相談いただける身近な存在となる活動を継続してまいります。

■相談事例

ライフプラン・シミュレーションの活用

資産運用

個人の課題

- 資産運用をはじめたい
- 豊かなセカンドライフを送るための準備をしたい
- 退職金の運用について考えたい

主な取り組み

- 運用方針・資金の性格・運用期間を確認
- 公的年金だけでは不足する生活費や、受給までのつなぎ資金を算出
- 資産運用に関するリスクの考え方を確認

相談の結果

- 自分に合った運用商品が見つかった
- 公的年金の不足分を「個人年金」で準備できた
- リスク許容度に応じた分散投資の提案により、退職金の運用ができた

生活のリスクへの備え

保険の相談

個人の課題

- 住宅購入をきっかけに家計の収支を見直したい
- 現在加入している保険が十分な保障か不安
- 子どもの教育資金を準備したい
- 相続に備えたい

主な取り組み

- 住宅取得後にかかる住居費、税金など支出の増加を試算
- 家族構成による必要保障額を算定
- ライフステージにおけるお子さまの進学時期とその他のライフプランを確認
- 保険を活用した、「のこす」お金の準備

相談の結果

- 住宅ローン金利の変動による、今後の収支の変動を把握できた
- 現在の保障内容を維持しながら、保険料を削減する見直しができる
- 学資保険の活用により教育資金を準備できた
- 大切な資産を大切な人に引継ぐ準備ができた



地域の持続的な成長と発展のために

多摩地域が持続的な明るい地域社会へと発展するために、
 <たましん>は行政や商工団体、各種機関・団体等とも協働で、地域の課題解決に向けて取り組んでいます。

地域ネットワークや情報を活かして

新産業・雇用の創出

- 創業・コミュニティビジネスへの取り組み
 「コミュニティビジネスの啓発」「創業」「ネットワークの構築」「中小企業の地域貢献」などの課題解決に向けた様々な取り組みを行っています。

商業・観光活性化

- 「東京・多摩のおみやげ」プロジェクト
 多摩地域の魅力ある商品を、「東京・多摩のおみやげ」として多摩地域内外に広めるための取り組みです。東京・多摩のおみやげの取扱店も増えています。



地域の魅力発信

- 地域情報誌「たまら・び」の企画
 市民が地域情報誌づくりに参加する「市民レポーター制度」により、地域の魅力の情報発信、新しいネットワークや事業のきっかけづくりを行っています。



多摩地域の 皆さまへ
 未来共有の 課題解決



地域経済レポート

- 「多摩けいざい」の発行

多摩地域の四半期毎の景気動向などのデータを分かりやすく解説した経済レポートです。



地域連携

- 地方公共団体との連携協定

創業や事業承継、工業・商業等の活性化のため、地方公共団体との連携を行っています。
 ・多摩市・調布市・日野市
 ・瑞穂町・昭島市



豊かなまちへの貢献

地域の豊かな生活のサポート

- 多摩らいふ倶楽部
 充実した毎日をお送りいただくために、「安心したい」「学びたい」「働きたい」「楽しみたい」をテーマとしたイベントやセミナーをご用意しています。



心のこもった対応

- 認知症サポーター
 認知症に対する正しい理解や接し方を学び、支援するため、たましんには約1,700名の「認知症サポーター」職員がいます。



「振り込め詐欺」被害を未然に防ぐために

巧妙な手口の振り込め詐欺から地域のお客さまを守るため、たましんでは地元警察との連携や、注意喚起のうちわやポスターの作成を行い、積極的に被害未然防止活動に努めています。

環境への取り組み

積極的・継続的に環境問題に取り組んでいます。

環境理念

当金庫は、地球環境保全を目指し積極的・継続的に環境問題に取り組めます。また、多摩地域の豊かな自然環境と経済発展が共生される社会を目指し、地域金融機関としての社会的責任を果たします。

環境方針

- 法令等の遵守
 環境関連法令、規則を遵守し、環境保全に取り組めます。
- 金庫内での環境負荷低減活動の推進
 廃棄物の排出やエネルギー資源の消費など、事業活動による環境負荷の削減へ向け、省資源、省エネルギー、グリーン購入など資源循環の取り組みを実践することにより、環境配慮型金融機関を目指します。
- 環境関連商品、サービスの提供
 環境保全に貢献しているお客さまを支援するための金融サービスや情報を充実させ、お客さまと共に環境保全の維持発展に努めます。
- 環境問題の役職員への啓発
 環境教育の啓発を継続的に行い、環境理念、本方針を深く理解した中で、役職員全員が環境問題に全力で取り組めます。
- 環境マネジメントシステムの構築
 環境目的、数値目標を設定し、目標達成への検証、見直しを継続的に行い、持続可能な地域社会を実現する取り組みに努めます。
- 地域社会との環境コミュニケーションの確立
 本方針はディスクロージャー、ホームページなどを通じて一般に公表し、地域社会とコミュニケーションを通じて環境の課題や情報を共有する中で、課題解決の取り組みに努めます。

地域・お客さまへの取り組み

再生可能エネルギーの活用支援

- 平成24年7月より、「再生可能エネルギーの全量固定価格買取制度」が開始になりました。当金庫では太陽光パネル設置による発電事業や発電事業に伴う設備資金のご融資に関してのご相談を承り、お客さまの環境に対する取り組みを支援しています。



〈太陽光パネルの設置事例〉

環境にやさしい「たましん」を目指して

- たましんでは、電力使用量を定期的に調査・分析し、店舗の新築や改修の際に太陽光発電、高効率照明や照明制御システムの導入を行うなど、環境にやさしい店舗づくりを進めています。

役職員の取り組み

eco検定の推奨

- eco検定（環境社会検定試験）は、環境問題の基礎的知識および最近の動向についての知識を身につけることを主旨とする検定試験です。合格者は「エコピープル」に認定されます。たましんではeco検定の受検を推奨しており、平成25年3月末現在で職員159名の「エコピープル」が誕生しています。

環境ボランティア活動への参加

- 役職員自らが環境ボランティア活動を通じて環境保全の意義と大切さを肌で感じることを目的として、地元里山保全団体の協力のもと、里山保全活動へ参加しました。



地域の持続的な成長と発展を支え続けます。



地域ネットワークや情報を活かして

【「たまら・び」企画】

「たまら・び」は多摩地域における地域情報誌として24,000部発行しています。平成25年4月15日発行のNo.79からのリニューアルに向けて、“まちの未来といっしょに生きる。”をコンセプトに、地域の様々な方々とともにまちの魅力や未来を語り合い、つながりあう仕組み“まちの未来プロジェクト”を導入しました。



地域情報誌「たまら・び」

豊かなまちへの貢献

【地方公共団体等への金融支援(PFI手法)】

くらしの安定や地域の皆さまの利便性向上に貢献するため、PFI*の手法を活用し、「立川市新学校給食共同調理場(仮称)設備運営事業」や「(仮称)八王子市新体育館等設備・運営事業」、「立川地方合同庁舎(仮称)設備等事業」に対し、金融支援を行いました。効率的かつ効果的な公共サービスを提供するお手伝いとして、積極的に取り組んでいます。

*PFI(Private Finance Initiative:プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)とは、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して、公共施設等の建設、維持管理、運営等を行う手法のことです。



立川市新学校給食共同調理場

地域産業の活性化のために

【東京・多摩のおみやげ】

「東京・多摩のおみやげ」を通じて多摩地域の魅力を発信する本プロジェクトの登録事業者は405、登録商品は1,045となりました。「おみやげ」商品に関わる多摩地域の事業者の売上向上につながる機会が増え、ご当地の新たなおみやげづくりにもさらに拍車がかかっています。



おみやげで多摩地域の魅力を再発見

【多摩CBネットワーク】

コミュニティビジネス(=CB)とは「地域の住民や事業者が主体となり、ビジネスの手法を用いて地域の課題を解決する取り組み」です。たましんは、企業・NPO・行政・中間支援機関などで構成されている多摩CBネットワークに参画し、多摩地域全域でCBへの理解と支援の体制整備を促進するためのネットワークづくりや地域のプロデューサーづくりに力をいれています。



多摩CBシンポジウム開催の様子

【PRコンクール入賞】

第32回信用金庫PRコンクールに、多摩の風景を描いた「倉田三郎画伯のカレンダー」が入賞しました。



四季折々の多摩の風景が描かれています

【新春講演会の実施】

毎年恒例の新春講演会では、ジャーナリスト田原総一郎氏による「どうなる日本の政治・経済～2013年のシナリオ～」というテーマで実施し、約900名のお客さまにご参加いただきました。



講演後も白熱した議論となりました

「振り込め詐欺」被害を未然に防ぐために

【振り込め詐欺被害防止状況】

振り込め詐欺について、地元警察との連携や窓口での声かけの強化とともに、注意喚起うちわの配布などを行いました。こうした取り組みの結果、平成24年度には46件の振り込め詐欺を未然に防止することができました。



振り込め詐欺防止うちわ



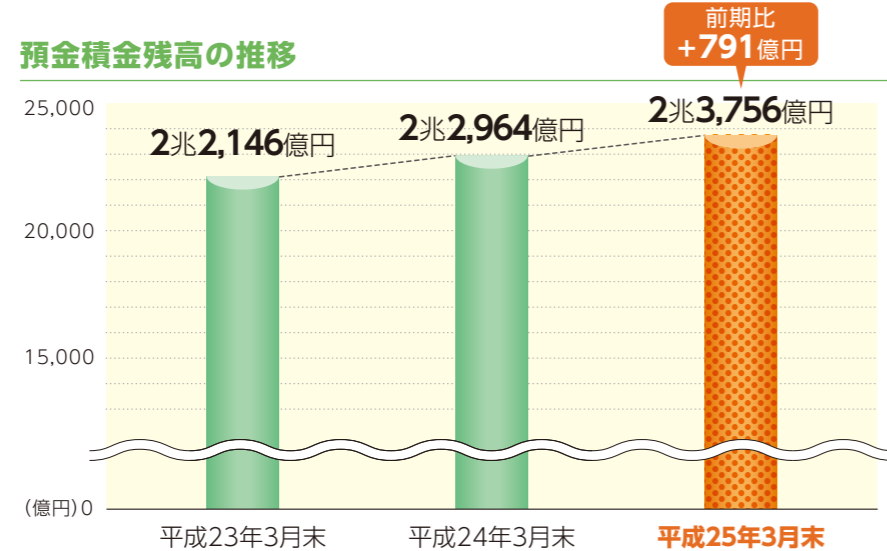
預金・年金振込・
預かり資産

預金・年金振込は増加しました。

預金積金残高は、791億円増加しました。

預金積金残高は、地域の皆さまからのご支持をいただいたことにより、前期より791億円増加し2兆3,756億円となりました。

今後も地域の皆さまの生活になくてはならない地域金融機関として、安心してお取引引きいただけるサポート体制を築いてまいります。



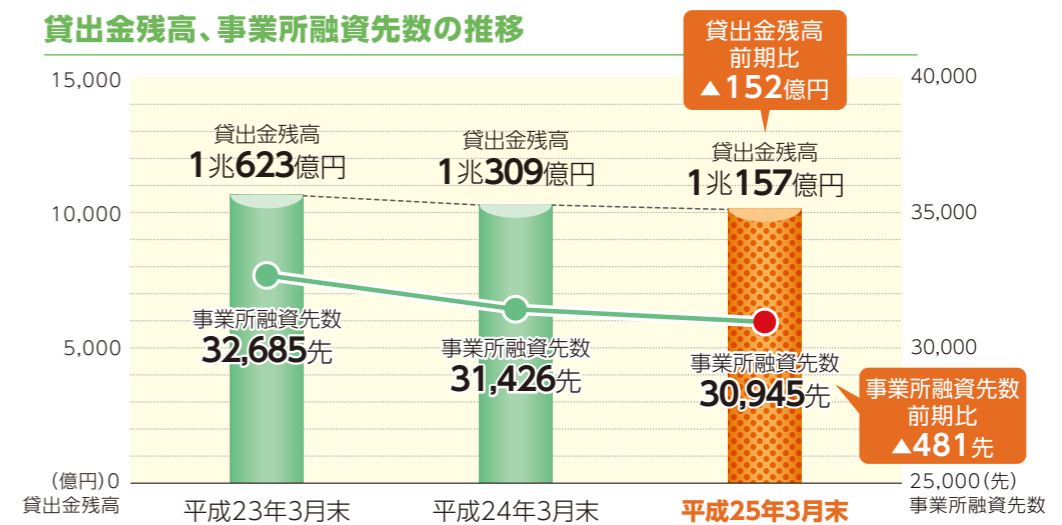
貸出金・
事業所融資先数

貸出金・融資先数は減少しました。

貸出金残高は152億円減少し、事業所融資先数は481先の減少となりました。

貸出金残高は、景気の低迷による資金需要の減退等により152億円減少し、1兆157億円となりました。事業性のご融資は46億円減少し、個人のお客さまのご融資は105億円の減少となりました。お客さまの悩みや課題により多く応えられるよう、努めてまいります。

事業所融資先数は、30,945先となりました。地域企業の課題解決のため、さらに行動力を増して取り組んでまいります。



※事業性のご融資には、個人事業者向け消費者ローン・住宅ローン等の消費資金を含んでいます。

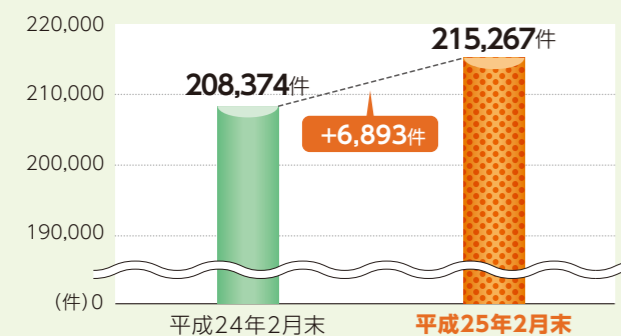


今期のポイント



年金振込件数の比較

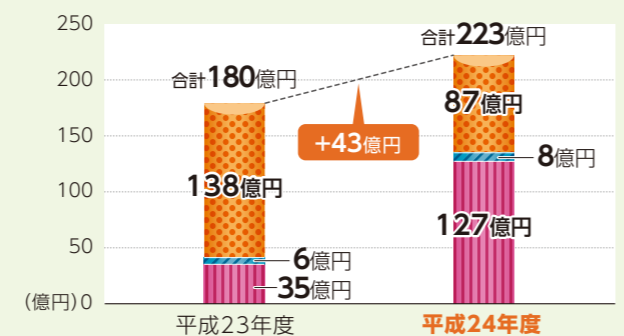
年金振込件数は、前年同月比で6,893件増加しました。お客さまから、変わらぬご信頼・ご支持をいただいています。



※基金を除く振込実績。

預かり資産取扱額の比較

預かり資産のお取扱い額は、前年度比で43億円増加しました。ご提案にあたっては、金融商品取引法等の法令等を遵守し、お客さまの状況にあわせて適切な説明を心がけています。



※外貨建て商品は、払込日のTTMレートで円貨換算して算出しています。

〈金融円滑化法終了後における支援姿勢の継続について〉

たましんは法律の施行以前より、経営理念の具現化として、地域のお客さまの悩みや課題を共有し、お客さまとともに課題解決に取り組んでまいりました。

企業・事業所のお客さまには、経営相談・事業支援および事業再生に取り組み、個人のお客さまにはライフサイクル、ライフプランに応じた総合的サポートを提供しています。

金融円滑化法終了後におきましても、お客さまの課題解決に取り組み、地域の発展に寄与するため、一層の金融の円滑化に向けて取り組んでまいります。

※「金融円滑化のための基本方針」・「金融円滑化を図るための方針の概要」・「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律第4条・第5条に基づく措置の実施状況」等については、たましんディスクロージャー2013およびたましんホームページに掲載しています。

収益の状況

業務純益は75億円、経常利益は54億円、
当期純利益は35億円となりました。

収益をさらなる地域貢献へ

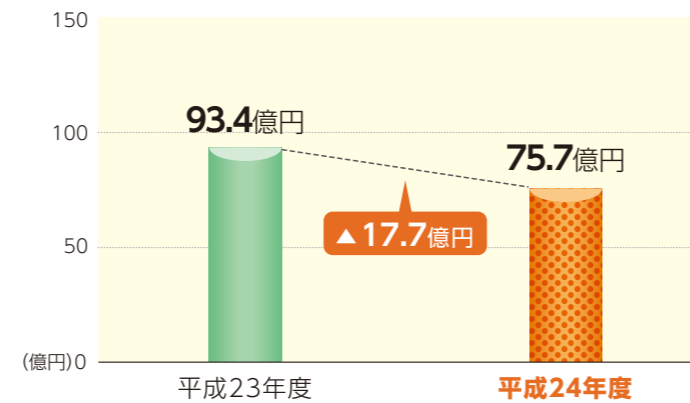
業務収益は貸出金残高が減少したことや金利の低下による貸出金利息、預け金利息の減少を主な要因として前期比24.5億円減少の399.4億円となりました。

業務費用についてもやはり金利の低下により預金利息が減少したこと、経費や債券の売却損等が減少したことを主な要因とし、前期比6.8億円減少の323.7億円となり、業務純益は75.7億円となりました。

経常収益は前期比20.2億円減少の415.9億円、経常費用は貸倒引当金が減少したこと等を要因とし同16.5億円減少の360.9億円となり、経常利益は54.9億円となりました。

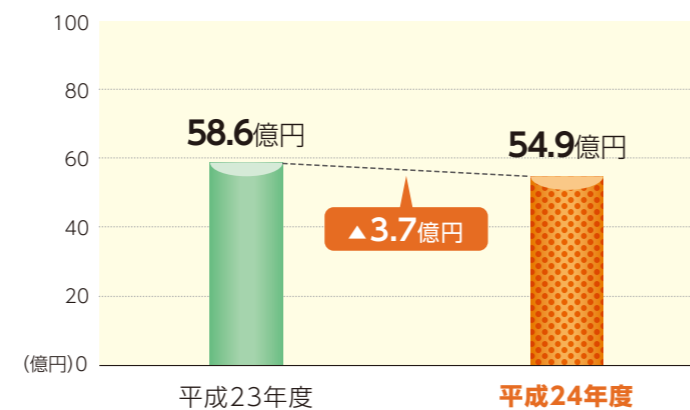
当期純利益は35.7億円となり、引き続き安定した収益を確保することができました。

業務純益の比較

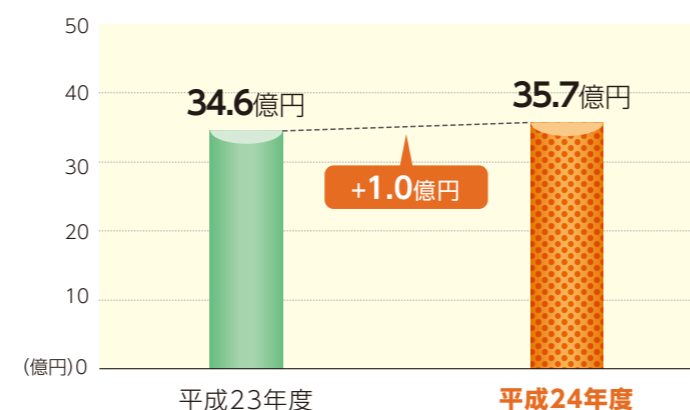


注. 業務純益とは… 業務収益 - (業務費用 - 金銭信託等運用見合費用) で算出され、金融機関の基本的な業務の成果を示す利益指標です。

経常利益の比較



当期純利益の比較



※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

自己資本比率

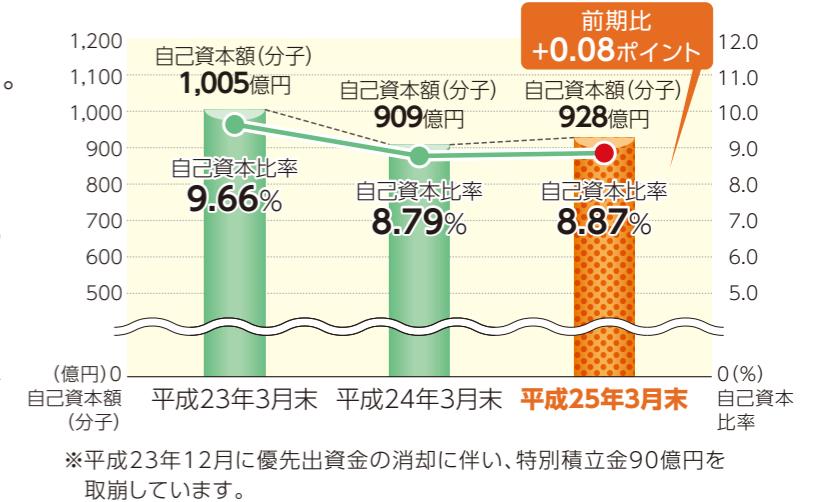
自己資本比率は、
8.87%となりました。

経営の健全性向上へ

平成24年度の自己資本比率については、「リスク・アセット等」(分母)は前期比109億円増加の1兆457億円となりました。一方、「自己資本額」(分子)は当期純利益の内部留保等により前期比18億円増加の928億円となり、自己資本比率は前期比0.08ポイント上昇の8.87%となりました。

たましんの自己資本比率に対する考え方は高さだけを求めるのではなく、地域で果たす役割を第一に考えており、お客さまへ貢献した結果として得られる適正な利益の内部留保を着実に蓄積していくことで、経営の健全性向上を目指しています。

自己資本比率の推移



自己資本の構成に関する事項

■自己資本調達手段の概要

自己資本は、主に基本的項目(Tier1)と補完的項目(Tier2)で構成されています。

基本的項目(Tier1)は、出資金と過去の利益金の中から内部留保してまいりました諸準備金や積立金等が該当します。補完的項目(Tier2)は、一般貸倒引当金と土地の再評価差額の一部等が該当します。

平成24年度末のたましんの自己資本のうち、基本的項目(Tier1)の当期末残高は884億円、補完的項目(Tier2)の当期末残高は44億円となりました。

自己資本の充実度に関する事項

■自己資本の充実度に関する評価方法の概要

平成24年度末のたましんの自己資本比率は8.87%、基本的項目(Tier1)比率は8.44%と、いずれも国内基準である4%を大きく上回っており、経営の健全性・安全性を十分保っています。

たましんでは、自己資本の充実度を評価する統合的リスク管理態勢を整備し、業務上発生し得る信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスクの計測を行うとともに、早期警戒制度の枠組みにおける金利リスク量及び与信集中リスク量を算出し、自己資本との対比分析を行い、定期的にALM委員会に報告しています。

将来の自己資本充実策については、年度ごとの経営計画の確実な遂行により安定的な収益を計上し、内部留保の充実を図ることを目指しています。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

不良債権について

金融再生法開示債権の不良債権比率は7.80%です。

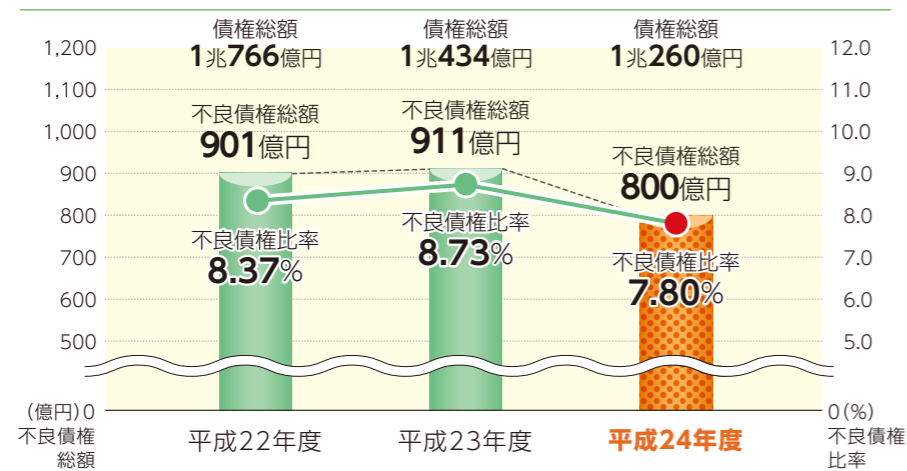
金融再生法開示債権額のうち正常債権を除く額は、800億円となりました。

金融再生法開示債権額のうち正常債権を除く額は、平成24年3月期より減少し800億円となり、不良債権比率は0.93ポイント低下し7.80%となりました。

たましんの目指す不良債権処理とは、お客さまの業況改善です。前向きに事業に取り組むお客さまの悩みや課題を共有し、解決することで、業況改善のお手伝いをいたします。

今後もお客さまの課題解決のため、金融面・非金融面と幅広い支援に取り組んでまいります。

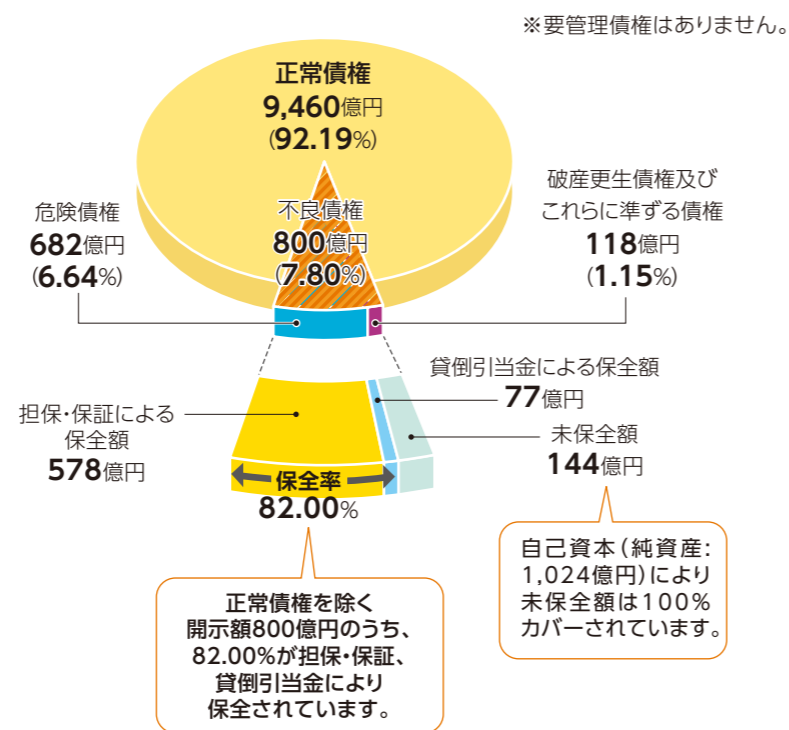
不良債権の推移 (金融再生法における開示債権)



不良債権は、しっかりと保全されています。

正常債権を除く開示額800億円のうち、82.00%が担保・保証、貸倒引当金により保全されています。残りの17.99%にあたる144億円は、自己資本(純資産1,024億円)により、100%カバーされています。

金融再生法開示債権の区分別割合と、同債権に対する保全状況



貸出金業種内訳・有価証券の状況

ご融資や資金運用のリスク管理について。

幅広く、小口多数の融資原則

たましんは、特定業種や大口取引に偏らず、多くのお客さまに幅広くご融資するという「小口多数者利用」を原則としています。これは、お客さまに安心してお取引引きいただくためと、地域で事業を営む方や、地域で生活している方を支援するという信用金庫の存在意義に基づいています。

貸出金業種内訳

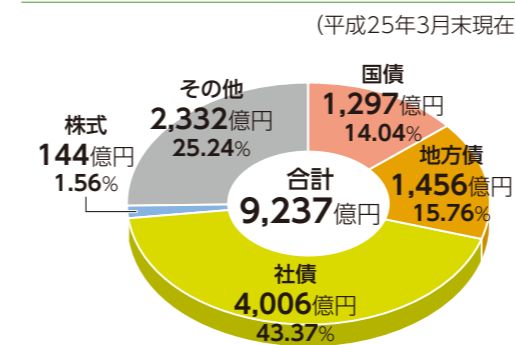
業種区分	平成24年3月末残高		平成25年3月末残高		業種区分	平成24年3月末残高		平成25年3月末残高	
	残高	構成比(%)	残高	構成比(%)		残高	構成比(%)	残高	構成比(%)
製造業	107,461	10.4	100,872	9.9	物品買付業	2,892	0.2	2,406	0.2
農業、林業	292	0.0	525	0.0	学術研究、専門・技術サービス業	13,097	1.2	11,944	1.1
漁業	1	0.0	1	0.0	宿泊業	1,419	0.1	1,156	0.1
鉱業、採石業、砂利採取業	258	0.0	149	0.0	飲食業	21,938	2.1	20,393	2.0
建設業	101,489	9.8	98,993	9.7	生活関連サービス業、娯楽業	12,936	1.2	12,497	1.2
電気・ガス・熱供給・水道業	272	0.0	304	0.0	教育、学習支援業	5,615	0.5	5,329	0.5
情報通信業	6,700	0.6	5,923	0.5	医療・福祉	33,324	3.2	34,085	3.3
運輸業、郵便業	15,285	1.4	15,116	1.4	その他のサービス	54,670	5.3	55,779	5.4
卸売業、小売業	93,127	9.0	90,846	8.9	地方公共団体	27,638	2.6	29,952	2.9
金融業、保険業	6,463	0.6	6,843	0.6	個人*	250,978	24.3	244,904	24.1
不動産業	275,083	26.6	277,716	27.3	合計	1,030,950	100.0	1,015,745	100.0
不動産売買業	28,595	2.7	25,892	2.5					
不動産賃貸・管理業	238,122	23.0	238,649	23.4					
不動産流動化等を目的とするSPC	—	—	—	—					
不動産関連地方公社等	8,365	0.8	13,174	1.2					

※住宅資金・消費資金等の貸出金は、個人に集計しています。

資金運用については、各種リスク管理を行ったうえで国内の債券を中心に安定した運用を心がけています。

国内の債券を中心に株式や外国証券等に分散投資したポートフォリオを構築しています。先進各国による金融緩和策の実施や、今後の政策への期待から円安・株高・債券高となり、保有有価証券の評価益は191億円となりました。

有価証券の種類別残高内訳



有価証券の評価差額の推移

	平成24年3月末	平成25年3月末		増減	
		取得原価等	時価		評価差額
有価証券	株式	△4	144	25	30
	債券	85	6,760	6,880	119
	その他	11	2,332	2,378	46
合計	92	9,237	9,429	191	99

※1 有価証券の種類別残高は、期末日における取得原価等であり、貸借対照表計上額と異なります。
 ※2 有価証券の評価差額は、期末日における取得原価等と市場価格等の差額です。
 ※3 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 ※4 変動利付国債の時価については、合理的に算定された価額をもって評価しています。これにより市場価格をもって評価した場合に比べ、有価証券の評価差額はそれぞれ9億円(平成24年3月末)、6億円(平成25年3月末)増加しています。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

貸借対照表

第80期 貸借対照表

平成25年3月31日現在(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
現金	28,785	預金積金	2,375,672
預け金	553,195	当座預金	44,843
コールローン	5,000	普通預金	997,823
買入金銭債権	1,565	貯蓄預金	10,369
金銭の信託	8,000	通知預金	1,457
商品有価証券	51	定期預金	1,185,150
商品国債	4	定期積金	113,645
商品地方債	46	その他の預金	22,383
有価証券	940,038	コールマネー	100,424
国債	132,646	外国為替	6
地方債	147,310	売渡外国為替	6
社債	405,259	その他負債	9,403
株式	17,063	未決済為替借	822
その他の証券	237,758	未払費用	1,018
貸出金	1,015,745	給付補填備金	344
割引手形	14,959	未払法人税等	44
手形貸付	25,057	前受収益	166
証書貸付	963,182	払戻未済金	67
当座貸越	12,546	職員預り金	541
外国為替	679	金融派生商品	33
外国他店預け	649	リース債務	175
買入外国為替	6	資産除去債務	346
取立外国為替	22	その他の負債	5,843
その他資産	15,226	賞与引当金	1,100
未決済為替貸	536	退職給付引当金	595
信金中金出資金	7,265	役員退職慰労引当金	399
前払費用	35	睡眠預金払戻損失引当金	239
未収収益	5,022	偶発損失引当金	273
金融派生商品	199	繰延税金負債	525
その他の資産	2,165	再評価に係る繰延税金負債	3,306
有形固定資産	33,882	債務保証	8,980
建物	5,929	負債の部合計	2,500,926
土地	22,636	出資金	23,587
リース資産	163	普通出資金	18,237
建設仮勘定	303	優先出資金	5,350
その他の有形固定資産	4,850	資本剰余金	766
無形固定資産	2,331	資本準備金	766
ソフトウェア	1,700	利益剰余金	64,719
リース資産	3	利益準備金	20,550
その他の無形固定資産	627	その他利益剰余金	44,168
債務保証見返	8,980	特別積立金	38,500
貸倒引当金	△ 10,114	当期末処分剰余金	5,668
(うち個別貸倒引当金)	(△ 7,845)	処分未済持分	△ 2
		会員勘定合計	89,069
		その他有価証券評価差額金	11,754
		土地再評価差額金	1,618
		評価・換算差額等合計	13,372
		純資産の部合計	102,442
資産の部合計	2,603,369	負債及び純資産の部合計	2,603,369

注. 優先出資(引受先:信金中央金庫)につきましては、平成23年12月9日に信金中央金庫より買入し、平成23年12月22日に特別積立金(優先出資消却積立金)及び期中利益により消却しました。ただし、「協同組織金融機関の優先出資に関する法律」に定める規定に従い「優先出資金」及び「資本準備金」として表示しております。

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

損益計算書・剰余金処分計算書

第80期 損益計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
経常収益	41,594,372	経費	29,702,575
資金運用収益	35,460,735	人件費	17,005,365
貸出金利息	24,049,973	物件費	12,162,530
預け金利息	2,132,153	税金	534,679
コールローン利息	1,071	その他経常費用	2,807,059
有価証券利息配当金	8,883,182	貸倒引当金繰入額	1,452,807
その他の受入利息	394,354	貸出金償却	500,638
役員取引等収益	3,647,360	株式等売却損	543,014
受入為替手数料	1,948,192	株式等償却	30
その他の役員収益	1,699,167	その他資産償却	20
その他業務収益	839,511	その他の経常費用	310,547
商品有価証券売買益	103	経常利益	5,495,723
国債等債券売却益	512,730	特別利益	23,691
国債等債券償還益	7,186	固定資産処分益	15,304
その他の業務収益	319,490	その他の特別利益	8,387
その他経常収益	1,646,765	特別損失	498,524
償却債権取立益	680,287	固定資産処分損	464,115
株式等売却益	106,858	減損損失	34,409
金銭の信託運用益	138,012	税引前当期純利益	5,020,891
その他の経常収益	721,606	法人税、住民税及び事業税	105,782
経常費用	36,098,648	法人税等調整額	1,339,889
資金調達費用	1,312,068	法人税等合計	1,445,672
預金利息	1,073,619	当期純利益	3,575,219
給付補填備金繰入額	178,308	繰越金(当期首残高)	1,093,452
借入金利息	27	次期システム投資積立金取崩額	1,000,000
コールマネー利息	46,279	土地再評価差額金取崩額	137
その他の支払利息	13,832	当期末処分剰余金	5,668,808
役員取引等費用	1,544,537		
支払為替手数料	636,755		
その他の役員費用	907,782		
その他業務費用	732,407		
外国為替売却買損	388,413		
国債等債券売却損	105,211		
国債等債券償還損	103,317		
金融派生商品費用	67,850		
その他の業務費用	67,614		

第80期 剰余金処分計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日(単位:円)

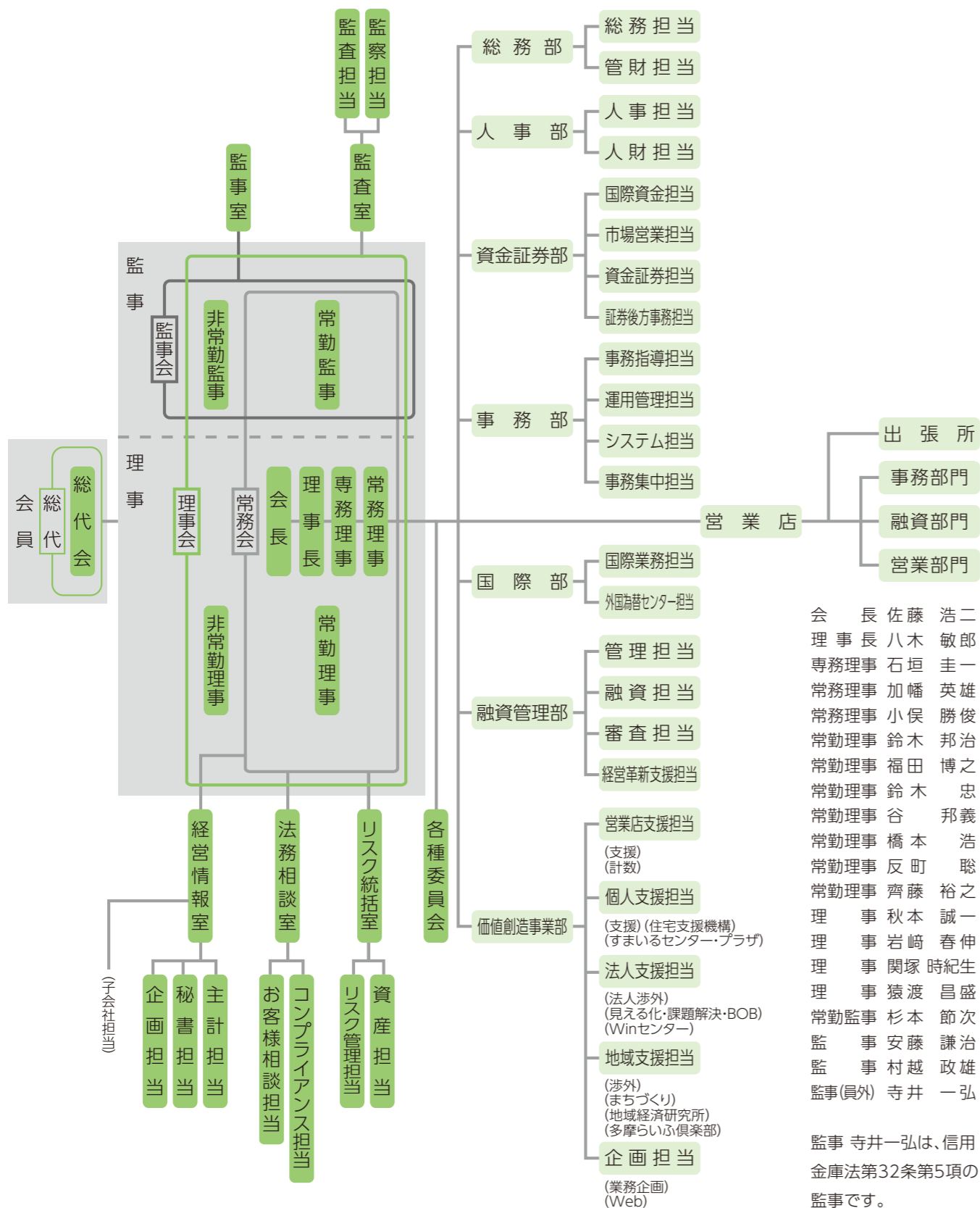
科目	金額	科目	金額
当期末処分剰余金	5,668,808,468	剰余金処分額	4,089,485,196
繰越金(当期首残高)	1,093,452,170	利益準備金	360,000,000
次期システム投資積立金取崩額	1,000,000,000	普通出資に対する配当金(年 4.0%)	729,485,196
土地再評価差額金取崩額	137,066	特別積立金	3,000,000,000
当期純利益	3,575,219,232	繰越金(当期末残高)	1,579,323,272

※単位未満切り捨て表示のため、合計・前年比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

さらなる地域貢献を目指し、 金庫運営の体制を整えています。

組織図

(平成25年6月末現在)



注. 必要に応じ事業準備室と支店開設準備室を設置する。

常勤役員一覧

(平成25年6月末現在)



会長 佐藤 浩二



理事長 八木 敏郎



専務理事 石垣 圭一



常務理事 加幡 英雄



常務理事 小俣 勝俊



常勤理事 鈴木 邦治



常勤理事 福田 博之



常勤理事 鈴木 忠



常勤理事 谷 邦義



常勤理事 橋本 浩



常勤理事 反町 聡



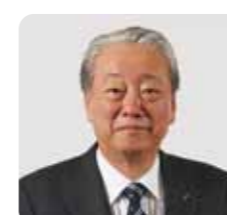
常勤理事 齊藤 裕之



常勤監事 杉本 節次

非常勤役員一覧

(平成25年6月末現在)



理事 秋本 誠一



理事 岩崎 春伸



理事 関塚 時紀生



理事 猿渡 昌盛



監事 安藤 謙治



監事 村越 政雄

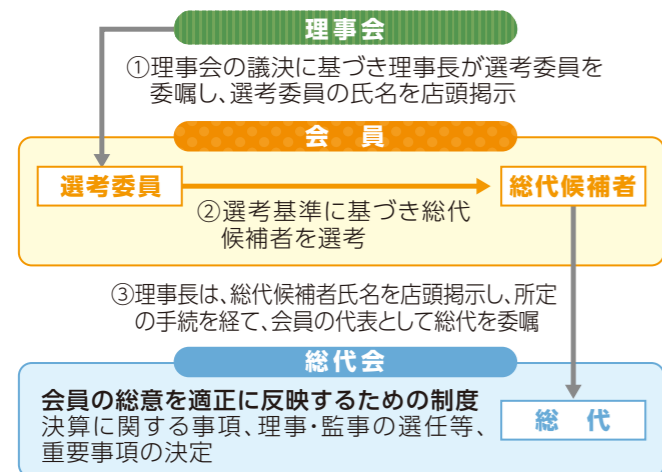


監事(員外) 寺井 一弘

安心してお取引引きいただける態勢を強化しています。

総代会制度について

■総代会の仕組み 総代会は会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。すなわち会員は出資口数に関係なく一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫は、会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しています。この総代会は、決算、取扱

業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。また、当金庫では総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて総代や会員とのコミュニケーションを大切に、様々な経営改善に取り組んでいます。

内部統制方針について

内部管理態勢の機能性、整備の継続性を強化するため平成19年度に「内部統制方針」を定めています。本方針では、理事会が決定する重要な業務執行について、整備すべき体制及び事項を明確にし、充実した内部統制管理の確立のため、コンプライアンス統括部署、統合的リスク管理部署、及び業務運営部門から独立した内部監査部署並びに監事が担う役割についても定めています。

平成24年度につきましても、本方針の実効性を高める様々な施策を引き続き実施しています。

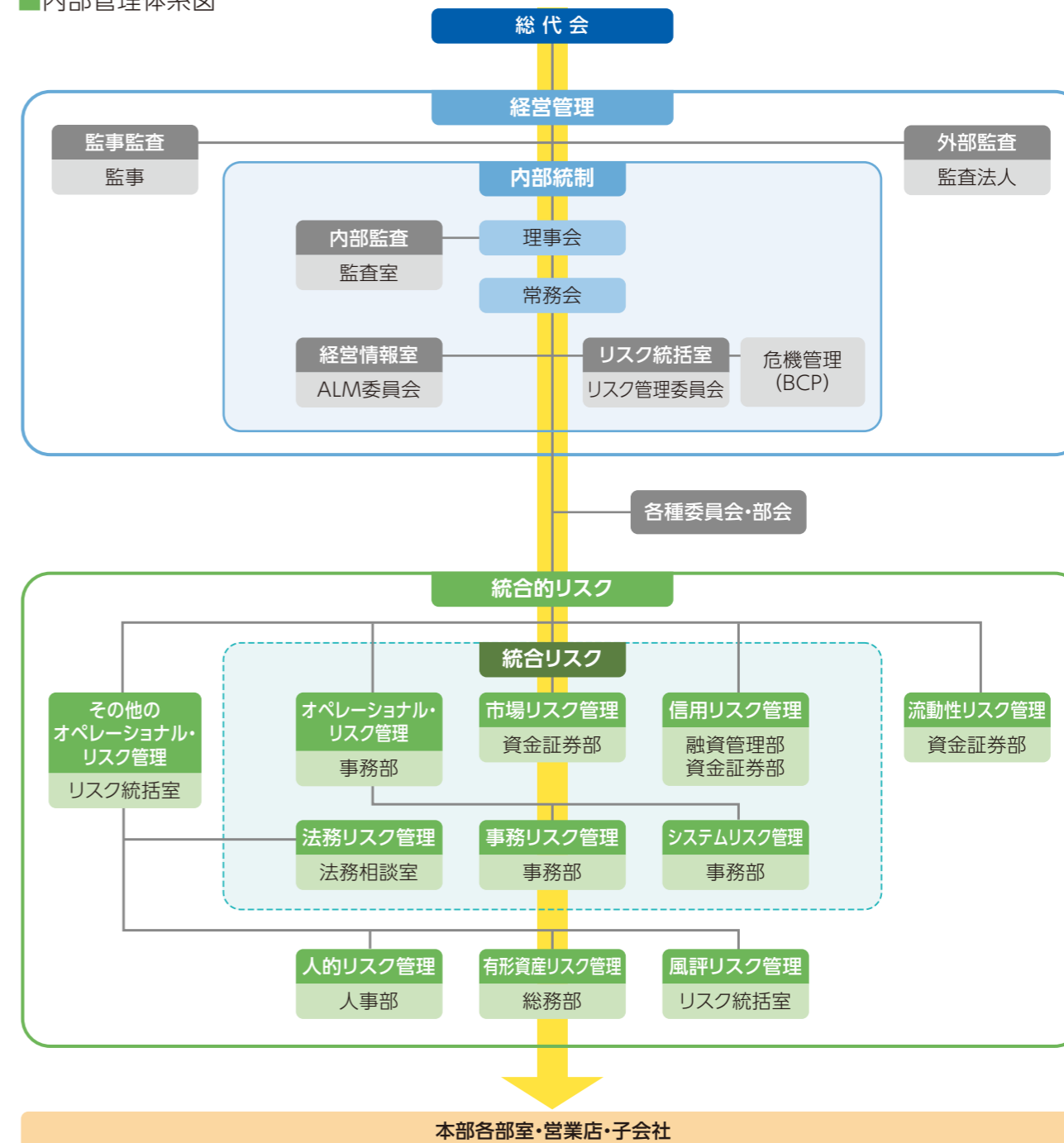
内部統制方針

1. 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
2. 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
3. 損失の危険の管理に関する規程及びその他の体制
4. 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
5. 監事とその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
6. 監事の職務を補助すべき職員の理事からの独立性に関する事項
7. 理事及び職員が監事に報告するための体制及びその他の監事への報告に関する体制
8. その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制
9. 当金庫及びその子会社における業務の適正を確保するための体制
10. 反社会的勢力の排除に関する体制
11. コンプライアンス統括部署の役割
12. 統合的リスク管理部署の役割
13. 内部監査部署の役割
14. 監事の役割
15. 反社会的勢力に対する主管部署の役割

内部管理態勢

たましんでは、管理すべきリスクの種類を①信用リスク、②市場リスク、③流動性リスク、④事務リスク、⑤システム・リスク、⑥その他のオペレーショナル・リスクに分類し、下記の図に示す各所管部署が、その特性に応じて適切に管理をしています。これらのリスクを総合的に管理する観点から、ALM委員会・リスク管理委員会の討議を経て、常務会に報告する体制を取っています。また、リスク管理態勢が十分に機能しているかを確かめるため、業務運営部門から独立した監査室が定期的に業務運営部門の監査を実施しています。

■内部管理体系図



内部監査について

内部監査とは、組織体の経営目標の効果的な達成に役立つことを目的として、公正かつ独立の立場で、その組織体における内部統制の主要な目的(業務運営の効率性と有効性、財務諸表の信頼性、法令等および社内規定の遵守状況等)を評価し、その結果に基づいて助言・勧告を行う活動です。

たましんでは、業務運営部門(子会社を含む)から独立した立場の監査室が、理事会により制定された「内部監査方針」に則り、全ての業務運営部門を対象とした内部統制の有効性、業務取扱いの適切性等を計画的に検証し、その結果を検討・評価して理事会へ報告しています。また、関連部署に対しては問題点の改善に向けた助言・提言を行う他、改善状況の確認を行っています。

監査体制の充実

監事監査
<p>信用金庫法第35条の7において準用する会社法第381条第1項および信用金庫法第38条の2第3項に基づき監査を行っています。なお、信用金庫法第32条第5項により「員外監事」を選任しています。</p> <p>また、監事は、定期的に監事会を開催し監査体制の充実を図っています。</p> <p>(注記)員外監事とは、以下の要件を満たす監事を指します。 1. 当金庫の会員または当金庫の会員たる法人の役員・使用人でない者。 2. 就任前5年間当金庫の理事・職員または当金庫の子会社の取締役・使用人でなかった者。</p>
会計監査人監査
<p>信用金庫法第38条の3において準用する会社法第329条第1項により選任した「太陽ASG有限責任監査法人」により、財務全般についての会計監査を受けています。</p>

コンプライアンス態勢について

コンプライアンス態勢の整備	コンプライアンスの運営態勢
<p>信用金庫は、協同組織の金融機関として、地域の中小企業や個人の皆さまの金融の円滑化を通じて、地域社会の繁栄に奉仕することを基本理念としています。</p> <p>たましんでは、地域とともに歩む金融機関として、地域のお客さまから真に信頼されるためには、法令や法令に基づく各種ルール及び社会規範を遵守することは当然の責務であるとの認識に立ち、コンプライアンス(法令等遵守)態勢の整備に努めています。</p>	<p>コンプライアンスの運営態勢としては、リスク管理委員会を設置し、毎月委員会を開催してコンプライアンスに関する重要事項を審議しています。法務相談室をコンプライアンスを統括する部門と位置付け、金庫全体のコンプライアンス態勢の整備に努めています。また、本部各部室及び営業店にはコンプライアンス担当者を配置し、コンプライアンスの徹底に努めています。</p>
コンプライアンス・マニュアル	コンプライアンス・プログラム
<p>企業倫理及び行動規範を制定するとともに、それらと法令等各種ルールの解説を記載した「コンプライアンス・マニュアル」を全職員に配布し、その内容の周知徹底を継続して図っています。</p>	<p>年度ごとにコンプライアンスに対する取組計画として「コンプライアンス・プログラム」を策定し、これに基づいてコンプライアンスの定着化を図るための各種研修、及びコンプライアンス環境等の整備を図るための諸施策を実施しています。</p>

コンプライアンス宣言

当金庫は、お客さまや社会の信頼にお応えするため、信用金庫のもつ社会的責任と公共的使命を常に自覚し、高い見識と倫理観をもち、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つとして企業活動を遂行してまいります。コンプライアンスを礎となす風土を確立するため、役職員総意の下に「コンプライアンス宣言」を策定し、遵守することを宣言いたします。

- 1 信頼の確保**
多摩信用金庫は、公共的使命と社会的責任を十分認識し、健全な業務運営を通じて、地域社会やお客さまから信頼を確保します。
- 2 誠実で公明正大な企業活動**
多摩信用金庫は、法令やルールを厳格に遵守するとともに、社会規範に従い、誠実かつ公正な企業活動を遂行します。
- 3 地域社会への貢献**
多摩信用金庫は、お客さまや地域の課題を共有し、解決することにより地域社会へ貢献します。
- 4 適切な情報開示の徹底**
多摩信用金庫は、経営等の情報を公正かつ適切に開示することにより、透明な経営を実現します。
- 5 反社会的勢力の排除**
多摩信用金庫は、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力を、断固たる姿勢で排除します。

個人情報保護について

金融機関は、コンピュータ管理された大量の個人情報を保有しています。保有している個人情報が流出すると、お客さまに多大な迷惑をお掛けすることになります。

たましんでは、個人情報の適切な保護と利用を図るための基本方針として「個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)」を策定し、公表しています。

また、お客さまの個人情報は、利用目的を特定した上で利用しています。

さらに、個人情報の取扱いに関する規程・要領等を整備し、職員研修を実施するとともに、遵守状況についての監査を行い、お客さまの個人情報が漏えいや毀損することを防ぐために万全を期しています。

反社会的勢力に対する基本方針について

当金庫は、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力を断固たる姿勢で排除していくため、「反社会的勢力に対する基本方針」を定めています。

- ① 当金庫は、反社会的勢力との取引を含めた関係を遮断し、不当要求に対しては断固として拒絶します。
- ② 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に対し、職員の安全を確保しつつ組織として対応し、迅速な問題解決に努めます。
- ③ 当金庫は、反社会的勢力に対して資金提供、不適切・異例な取引および便宜供与は行いません。
- ④ 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に備えて、平素から警察、暴力追放運動推進センター、弁護士等の外部専門機関と緊密な連携関係を構築します。
- ⑤ 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に対しては、民事と刑事の両面から法的対抗措置を講じる等、断固たる態度で対応します。

重要事項の対応状況

■預金保険制度の対応

預金保険法では、金融機関に対して預金者の確認及びシステムの対応を義務づけています。

たましんでは、日頃から預金保険法に従い、データ及びシステムの整備に努めています。このため、「個人の生年月日」、「法人の設立年月日」等についてお客さまに照会させていただくこともありますので、ご協力をお願いいたします。

■取引時確認の対応

マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与の防止を強化する目的で「犯罪による収益の移転防止に関する法律」が改正され、平成25年4月1日から、新規の口座開設など取引時確認の必要なお取引をされるお客さまには、これまでの氏名・住所および生年月日等の確認に加えて、「取引を行う目的」「職業または事業の内容」等について確認させていただくことになりました。ご理解、ご協力をお願いいたします。

■情報管理の対応

たましんは平成25年1月にしんきん共同センターへ加盟しましたが、各種情報をコンピュータ管理しているしんきん共同センターおよび当金庫の事務センターでは、建物への入館及びコンピュータ室等主要な場所への入室はICカードや指紋認証によるものとして、部外者の侵入を防止しています。また警備会社の警備員が24時間常駐するとともに、要所要所に設置したビデオ監視カメラにて状況を監視しています。

たましんのオンラインシステムはしんきん共同センターと当金庫の事務センターそして営業店を広域イーサネットで結んでおり、専用線と同等の高いセキュリティを実現しています。また、インターネットバンキングにおきましてはお取引内容に応じた暗証番号を確認させていただくとともに暗号通信方式を採用しており、お客さまとの情報の送受信は安全に行われます。

たましん内のネットワークは外部から分離されており、各部署に設置したインターネット用パソコンは単体で使用しています。また、たましん内のネットワークパソコンは記録媒体(USBメモリ等)を装填する機能を無くし、情報を外部にコピーすることを不可能にするるとともに、外部からのウイルスの侵入も防いでいます。

たましんでは業務上知り得た情報を外部に漏らすことのないよう職員の行動規範を定め、コンプライアンス教育により「守秘義務」「お客さま情報の取扱い」の重要性について、徹底を図っています。

■与信取引におけるお客さまへの説明態勢の整備

たましんでは、「与信取引に関する説明態勢」に係わる規程を制定し、ご融資先や保証人、担保提供者の方に対して十分な説明責任を果たし、お客さまの負担するリスクについても、お客さまの知識・経験・財産の状況に応じて十分にご理解とご納得を得られるよう努めています。契約にあたっては、各契約書の写しをお客さまにお渡しし、ご融資の契約内容をいつでも確認できる態勢としています。

また、お客さまへの説明に関する研修・教育の実施やお客さまからの苦情等の申し出に対して迅速に対応する態勢を整備しています。

■経営者以外の第三者保証人を原則求めない対応

当金庫では、直接的に経営責任がない第三者に、債務者と同様の保証責任を負わせることは適当ではないという観点から、事業性融資において経営者以外の第三者保証人を原則求めない取扱いとしています。

ただし、事業に実質的に関与している方や事業承継予定者の方等、また保証人となる申し出をいただいた方等には、必要に応じて保証人となっていただいています。

また、保証履行の請求時には、保証債務弁済の履行状況や、保証債務を負うに至った経緯等、その責任の度合いに留意し、その保証人の方の資産、収入等の生活実態を踏まえた、きめ細かい対応に努めています。

■代表者の個人保証を求めない融資の取扱い

当金庫では、経営者の方の様々な事業課題の解決やさらなる事業支援を強化する観点から、経営者の個人保証を求めない融資の取扱いを行っています。

また、既にご利用いただいているご融資についても、保証の免除が受けられます。なお、保証の免除にあたっては、一定の条件や貸付金利の上乗せがあります。

■金融商品取引法への対応

金融商品取引法は元本割れ等のリスクがある金融商品を勧誘・販売する際に、お客さまの保護の徹底と利便性の向上を図るための法律で、お客さまの状況に応じた対応が金融機関に求められます。

たましんでは、投資信託・保険商品・公共債・外貨預金等の金融商品の提案・勧誘・募集・販売にあたり、金融商品のリスク等を含む重要事項をご説明させていただくとともに、お客さまの投資目的等のご確認をさせていただき、お客さまに適切な金融商品をご提案させていただくよう徹底を図っています。

■保険募集

保険の募集にあたっては、保険業法上の募集禁止行為等に抵触しないよう十分留意し、保険契約の確認・締結を行う場合、「勧誘方針」、「保険募集指針」に沿って、適切な方法によって重要事項等の説明を行うこととなっています。

このため、たましんでは、保険商品の説明に先立ち「保険商品のご提案にあたって」の書面により、信用金庫取引に影響がないことの説明、預金等との誤認防止及びお客さま情報の取扱いについて説明し、お客さまにご理解いただいたことを確認させていただいています。また、「契約締結前交付書面」の交付・説明、契約内容がお客さまの意向に合っているかを確認する意向確認と合わせて、適合性のご確認をさせていただいています。

当金庫は、「金融商品の販売等に関する法律」に基づき、金融商品の販売等に際しては、次の事項を遵守し、お客さまに安心してお取引いただけるよう、金融商品の適正な勧誘を行います。

勧誘方針	
①当金庫は、お客さまの知識、経験、財産の状況及び当該金融商品の販売に係る契約を締結する目的に照らして、お客さまに適正な情報の提供と商品説明をいたします。	③当金庫は、誠実・公正な勧誘を心掛け、お客さまに対し事実と異なる説明をしたり、誤解を招くことのないよう、研修等を通じて役職員の知識の向上に努めます。
②金融商品の選択・購入は、お客さまご自身の判断によってお決めいただけます。その際、当金庫は、お客さまに適正な判断をしていただくために、当該金融商品の重要事項について説明をいたします。	④当金庫は、深夜や早朝等お客さまにご迷惑となる時間帯やご迷惑となる場所での勧誘は行いません。ただし、事前にお客さまからご了解をいただいている場合を除きます。

金融商品の販売等に係る勧誘についてご意見やお気づきの点等がございましたら、お近くの窓口までお問い合わせください。

当金庫は、確定拠出年金運営管理機関として、確定拠出年金法上の「企業型年金に係る運営管理業務のうち運用の方法の選定及び加入者等に対する提示の業務」および「個人型年金に係る運営管理機関の指定もしくは変更」に関しても、金融商品の販売等に関する法律に基づき定めた当金庫の上記「勧誘方針」を準用します。

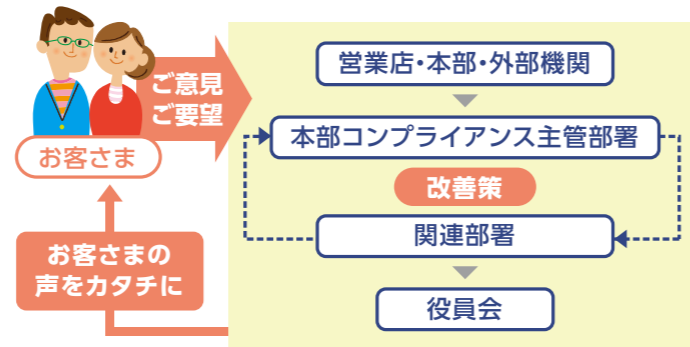
お客様の声を
活かすしくみ

お客様の声は、 私たちの糧となります。

たましんでは、お客さまからお寄せいただいた様々な声を真摯に受け止め、よりよいサービスのために活かしてまいります。

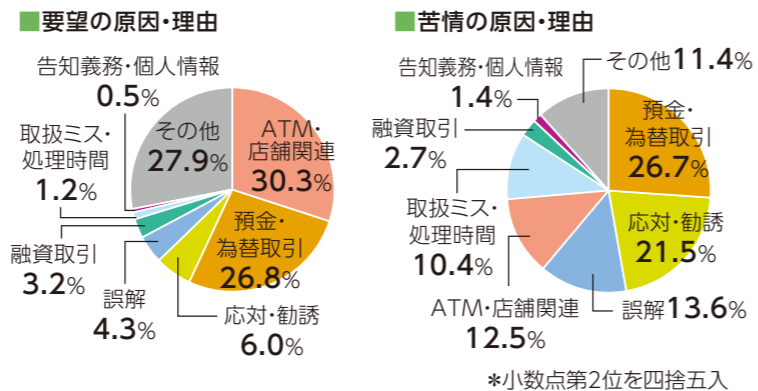
お客様の声を活かすしくみ

たましんでは、営業店・本部・外部機関でお受けしたお客様の声をコンプライアンスの主管部署が関係部署と協議し、問題点の解決に努めています。たましんにとって、店舗の窓口やお客さま担当者が日々接する「お客様の声」こそが活動指針です。お客さまによりご満足していただける金融機関をめざして、たましんではこうしたお客様の声を業務やサービスの充実に役立てています。



たましんにお寄せいただいた声について

平成24年度中にたましんの営業店等へお寄せいただいたお客さまからの要望・苦情等は3,789件でした。全体の内訳としては、要望が38.5%、苦情が37.7%、その他(お褒めの言葉や相談等)が23.8%となっています。そのうち、要望の原因・理由としては、ATM・店舗関連および預金為替取引に関するものが約6割を占めており、苦情の原因・理由としては、預金・為替取引および応対・勧誘に関するものが約5割を占めています。



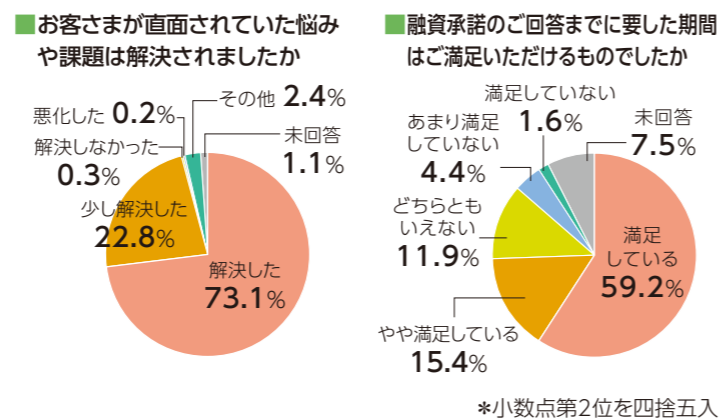
お客様の満足度(CS)アンケート結果

新規にご融資をご利用いただいたお客様の満足度(CS)に関するアンケートを毎月実施しています。平成24年1月より12月まで実施した調査では、対象7,395件(前年比1,073件増)に対し、回答2,160件(前年比240件増)、回答率は29.2%(前年比1.2ポイント減)でした。

ご融資をご利用いただくことを通じて、「課題が解決した」「少し解決した」お客さまが95.9%(前年比1.0ポイント減)となりました。

また、融資承諾のご回答までに要した期間にご満足いただけたお客さまは74.6%(前年比5.9ポイント増)となり、前年より改善しました。しかし、残り17.9%のお客さまにはまだまだスピードにご満足いただけておりません。

お客様の抱える喫緊の課題を解決するため、スピード感を持って活動してまいります。



「心のこもった対応」への取り組み

全営業店の職員が、認知症サポーターの資格を取得しました。

たましんでは、職員一人ひとりが全てのお客さまに対してより真心を込めた対応ができるよう、各店舗・部署ごとに「心のこもった対応」を推進しています。活動6年目を迎えた平成24年度は、「心のこもった対応～ここも活動～」の原点である「高齢者にとってやさしいお店づくり」をテーマに、全営業店において認知症サポーターを養成する取り組みを実施しました。

平成24年8月23日をもって、全営業店の職員が上記の養成講座の受講を終了し、約1,700名の職員が「認知症サポーター」資格を取得しました。

今後も、地域のお客さまに親しみを持っていただける金融機関を目指して、日々の業務に取り組んでまいります。



店舗掲示ポスター

認知症サポーターとは?

認知症サポーターとは、認知症の人や家族を支援するボランティアのことです。「全国キャラバン・メイト連絡協議会」が自治体や企業等と養成講座を実施し、受講者は認知症の症状や接し方を学びます。

サポーターの職員は、目印をつけています

サポーター職員は、養成講座を受講したサポーターの証「オレンジリング」を身につけています。

たましんには、この養成講座を受講した約1,700名の「認知症サポーター」職員がいます。



サポーター職員はこの目印「オレンジリング」をつけています

どうしてサポーターが増えているの?

認知症の人数は、全国で305万人と言われており、全国で認知症サポーターの重要性が高まっています。

地域社会の一員として、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに貢献するため、たましん職員も認知症に対する正しい理解と知識を備えるよう努めてまいります。



みなさまの声をお待ちしております～ご意見・ご要望は、お近くの店頭窓口または営業係、ホームページまたは店頭設置のアンケートボックスへ



これからも、地域とお客さまに信頼される〈たましん〉へ

〈たましん〉は平成25年1月、新オンラインシステムへ移行しました。

たましんは、これからも地域のお客さまに必要とされ、より一層ご安心をお届けできる地域金融機関をめざし、平成25年1月に、これまでの自営オンラインシステムから、全国の信用金庫の約9割が加盟する「しんきん共同センター」のシステムへ移行しました。これからもずっと、〈たましん〉は安全性の高いシステムと、わかりやすく使いやすいサービスを心がけてまいります。





新規オープン・リニューアル店舗

豊田支店

平成25年4月、区画整理事業に伴い、移転オープンしました。ゆったりとお座りいただきながらご相談いただける窓口カウンターを設置するとともに、年金・保険等についてご相談いただける「すまいるカウンター」を新設しました。2日間のオープンイベントには、約2,000名のお客さまがご来店されました。



小金井支店 **秋川支店** **散田支店**

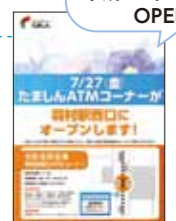
平成24年、くらしやお金のことを相談できるコンサルティングスペース「すまいるカウンター」を小金井支店、秋川支店、散田支店内に新設しました。



新設店外キャッシュサービスコーナー

羽村駅西口

お問い合わせは
羽村支店
(042-555-3111)まで



たましん保険なっ得館

お客さまに合わせた保障をご案内する「たましん保険なっ得館」は、今まで以上にお客さまとの接点を増やすため、平成25年4月より、土・日も営業しています。





お客さまの幸せづくり
たましん

たましんの社章は、私たちの活動地域である多摩の頭文字「T」をモチーフにしています。

ダイナミックに伸びていくフォルムは、地域の皆さまとともに新しい価値を創造し、多摩の明日を拓いていく姿を象徴しています。コーポレートカラーのレッドはあたたかい信頼関係を、ブルーとグリーンは自然と共存し豊かに発展していく多摩地域を表しています。

「お客さまの幸せづくり」を理念として、地域とともに歩む私たちの変わらぬ姿勢をこのシンボルマークに込めています。



たましんのオリジナルキャラクター
「RISURU(リスル)」

多摩の豊かな自然や緑をイメージさせる小動物、リス。
皆さまの「利益が上がる」、
地域やお客さまを「利する」という
わたしたちの願いを込めて名付けました。

すべては「お客さまの幸せづくり」のために。
80周年を迎えた「たましん」を、
これからもよろしくお願いたします。



ホームページはこちら

<http://www.tamashin.jp>



たましん

検索

・地域密着型金融の取り組み状況および
たましんレポート2013用語解説集も掲載しています

たましんレポート2013
多摩信用金庫

〒190-8681
東京都立川市曙町2丁目8番28号
TEL:(042)526-1111(大代表)
<http://www.tamashin.jp>
発行:平成25年7月



本誌に関するお問い合わせは

お客さま照会センター
フリーダイヤル:0120-187-329
たましんホームページや巻末のはがきでも
本誌やたましんに関するご意見を承っております。

※RISURUはたましんのイメージキャラクターです。

©2003,2013 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL NO. G540882



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認証されました。

